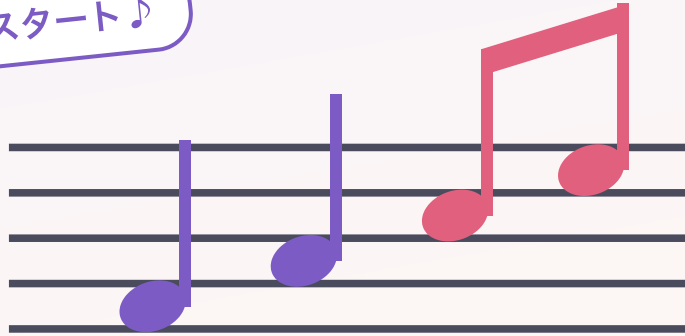


録音スタート♪



自分の音を残そう！

録音の基本

自分の音を、そのまま形に残してみよう



この教材の使い方

1

声と体で感じる

音楽は、歌ったり手をたたいたりするほど身につきます。気になったところは、何度でも声に出してみましょう。

2

本物の音を聴く

この教材に出てくる曲や楽器は、音源や動画でも聴いてみましょう。耳で知ると、理解がぐっと深まります。

3

「やってみよう」は手と体で

答えは30ページにあります。正解がひとつではない問題もあります。自分の感じ方を大切にしましょう。



Ken (ケン)

音楽が好きな中学生。ギターを始めたばかり。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。ピアノが得意。

もくじ

録音の準備	3～9
録音してみる	10～15
仕上げと発表	16～19
練習しよう	20～24
ふり返し	25～30

録音とは、音をデータとして残すことです。



書いて覚えよう

録音の道具

道具を知ると、録音の質がぐっと上がります。

道具	役割
マイク	音を電気の信号にかえる
スマホ・レコーダー	音を記録する機械
ヘッドホン	録音した音を確認する

ポイント

- 特別な機材がなくても、スマホのマイクだけで録音は始められます。

やってみよう

1. 家にある録音の道具を、思いつくだけ書き出してみよう。

書いて覚えよう

5

マイクとの距離で、音の大きさや質が変わります。

- マイクに近すぎると、息の音や「ば行」の破裂音が目立つことがあります。
- 少しマイクから離れたり、ななめに向けたりすると、聴きやすい音になります。

1. マイクとの距離を変えながら声を録音し、聴こえ方をくらべてみよう。

ワンポイント 耳を痛めないよう、ヘッドホンで確認するときは音量を上げすぎないようにしましょう。

録音する部屋

部屋のひびき方も、録音の仕上がりに関係します。

ひびきやすい部屋

かたい壁・ものが少ない

音がわんわん反響する

こもって聴こえがち

ひびきにくい部屋

カーテンや布団がある

音が吸収される

すっきり聴こえやすい

ポイント

- カーテンを開めたり、布団を置いたりするだけでも、ひびき方が変わります。

やってみよう

1. 家の中で、いちばん静かで録音に向いていそうな場所を探してみよう。

書いて覚えよう

雑音を減らす

まわりの音を減らすと、録音がぐっとクリアになります。

雑音の原因の例

エアコンの音

冷蔵庫のモーター音

外の車の音

時計の秒針

録音前に、音の出るものを止められるか確認してみましょう。

やってみよう

1. 録音する場所で、聞こえる雑音を3つ探してみよう。

書いて覚えよう

音量は、大きすぎても小さすぎても困ります。

- | | | |
|---|----------------|----------|
| ① | 音が割れて、ジリジリ聴こえる | 音量が大きすぎる |
| ② | 音が小さく、こもって聴こえる | 音量が小さすぎる |
| ③ | はっきり、自然に聴こえる | ちょうどよい音量 |

- 録音前に、短く試し録りをして音量を確認しましょう。
- 大きすぎる音は、あとから直すのが難しいので注意しましょう。

1. 試し録りをして、音が割れていないか確認しよう。

歌の録音は、のどのコンディションも大切です。

- 録音前に軽く発声練習をすると、声が出しやすくなります。
- のどが疲れたら、無理をせず休みましょう。

1. 好きな歌を1フレーズ、マイクに向かって歌ってみよう。

ワンポイント うまく歌えなくても大丈夫。まずは自分の声を聴くことから始めましょう。

楽器を録音する

楽器ごとに、録音のコツが少しずつちがいます。

楽器	録音のコツ
リコーダー・管楽器	音が出る穴から少し離す
ギター	弦の中央あたりにマイクを向ける
太鼓・打楽器	たたく面から少し離して録る

やってみよう

1. 身近な楽器を1つ選び、録音する位置を工夫してみよう。

書いて覚えよう

合奏を録音する

みんなで演奏する音は、全体のバランスが大切です。

ポイント

- 1つの楽器だけが大きく録れないよう、マイクの位置を工夫しましょう。
- 全員の音がバランスよく聴こえるか、試し録りで確認しましょう。

やってみよう

1. 合奏を録音するなら、マイクをどこに置くか考えてみよう。

書いて覚えよう

重ね録り

1人でも、パートを重ねて演奏できます。

重ね録り（オーバーダブ）

overdub

先に録音した音を聴きながら、別の音を重ねて録音すること

ポイント

- 先にリズムを録り、それに合わせてメロディやハーモニーを重ねる方法があります。
- 1人で、まるで合奏のような作品をつくることもできます。

やってみよう

1. 手拍子を録音し、それに合わせて声を重ねてみよう。

書いて覚えよう

録音を聴き直す

聴き直すことで、次の録音がよくなります。



Ken

でも、どこを直せばいいか、よくわかるようになった気がする。



Emma

自分の声を録音で聴くと、なんだか照れくさいね。

ポイント

- 自分の耳で直接聴くのと、録音を聴くのとでは、聴こえ方がちがいます。
- 何度も録り直して、いちばん良いものを選ぶのも大切な作業です。

やってみよう

1. 自分の録音を聴いて、良かったところを1つ書こう。

書いて覚えよう

編集入門

録音したあとに、簡単な手直しもできます。

編集でできること

いらない部分を切る

音量を調整する

曲の始まりと終わりをそろえる

多くのアプリには、録音を切ったりつなげたりする機能があります。

やってみよう

1. 自分の録音の中で、切りたい部分がないか確認してみよう。

書いて覚えよう

大切な録音は、なくさないよう保存しましょう。

録音のマナー

録音には、気をつけたいマナーがあります。

録音のマナー

人を無断で録音しない

録った音を勝手に公開しない

夜おそくは音量に気をつける

自分以外の人の声や演奏を録るときは、必ず一言たずねましょう。

ポイント

- 録音は楽しいものですが、まわりへの気配りも忘れないようにしましょう。

書いて覚えよう

録音作品の発表・録音で上達する

録音を通じて、自分の音楽が育っていきます。

ポイント

- 録音した作品は、家族や友だちに聴いてもらいましょう。
- 録音と聴き直しをくり返すことが、いちばんの上達の近道です。

やってみよう

1. 自分の録音作品を、家族や友だちに聴いてもらおう。

ワンポイント 1週間前の録音と聴きくらべると、自分の成長に気づけることがあります。

書いて覚えよう

20

やってみよう・みんなで練習

録音した音を聴きながら、練習しましょう。

A

(1回目を録音)

B

(聴いて感想)

A

(直して2回目を録音)

B

(聴いて感想)

A

(気に入った回を選ぶ)

ポイント

- 何度か録音して聴きくらべ、いちばん良いものを選ぶ練習です。
- うまくいかなかった回も、次に生かせる発見があります。

ワンポイント 完璧さを求めすぎず、まずは録って聴く、をくり返してみましょう。

書いて覚えよう

よくあるつまずき・上達のコツ

つまずきは、上達のサインです。

つまずき

よくあること

雑音が入ってしまう

気づかず作業してしまう

音が割れてしまう

近すぎ・大きすぎ

何度録っても納得できない

完ぺきを求めすぎる

コツ

こうしてみよう

録る前に静かにする

音源を止める

試し録りで確認する

距離や音量を調整

いちばん良い1回を選ぶ

完ぺきでなくてOK

ポイント

- できないところは、1つずつ原因を確かめながら練習しましょう。

やってみよう

1. あなたが録音でつまずきやすいことは？ _____

書いて覚えよう

用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しよう。

録音の道具

☐ マイク

音を電気の信号にかえる道具

☐ ダイナミックマイク

じょうぶで大きな音に強いマイク

☐ コンデンサーマイク

細かい音までひろうマイク

録音の環境

☐ 雑音

録音の目的以外の、まじってしまう音

☐ 音量

音の大きさ

☐ 部屋のひびき

音が反響する度合い

録音の技法

☐ 重ね録り

音を重ねて録音すること

☐ 編集

録音を切ったり整えたりすること

☐ 試し録り

本番前の確認用の録音

仕上げ

☐ WAV

音質が良い録音の形式

☐ MP3

小さく扱いやすい録音の形式

☐ バックアップ

データを別に保存しておくこと

ワンポイント 覚えた言葉に✓をつけよう。言葉を知ると、録音の工夫も説明しやすくなります。

書いて覚えよう

復習クイズ

ここまでの内容をチェックしよう。

1. 言葉と意味を線でむすぼう

- | | | |
|------|---|----------------------|
| マイク | ● | ● ア. 録音を切ったり整えたりすること |
| 雑音 | ● | ● イ. 音を重ねて録音すること |
| 重ね録り | ● | ● ウ. 音質が良い録音の形式 |
| 編集 | ● | ● エ. 音を電気の信号にかえる道具 |
| WAV | ● | ● オ. 録音にまじってしまう余計な音 |

2. 空らんに入る言葉を書こう

- 録音にまじる余計な音を [] という。 _____
- 先に録った音に合わせて別の音を重ねることを [] という。 _____

3. 正しいほうに○をつけよう

- 細かい音まで感度よくひろうマイク → (コンデンサーマイク / ダイナミックマイク)
- 音質が良く、ファイルが大きい形式 → (WAV / MP3)

書いて覚えよう

書いて覚えよう

家でできる練習

毎日少しずつ、録音にふれよう。

朝

その日の声で少しでも発声練習

移動中

家に帰ったら録音したいことを考える

お風呂

声がよく響く場所で歌ってみる

夕方

スマホで短い録音を試してみる

夜

録音を聴き直してメモする

週末

家族に録音作品を聴かせる

ポイント

- 1回5分でも、毎日続けることがいちばんの力になります。

書いて覚えよう

発表してみよう・感想を書こう

録音した作品を、人に伝えてみよう。

録音した曲

使ったマイクや道具

工夫したところ

聴いてほしい人

Ken の例

録音した曲 ふるさと（弾き語り）／使った道具 スマホ／工夫したところ 静かな部屋を選んで録った／聴いてほしい人 おばあちゃん

感想を3文で書こう

① この録音は、～な感じに仕上がりました。② とくに、～のところを工夫しました。③ それは、～だからです。

書いて覚えよう

もっと知りたい人へ・次のステップ

録音の世界は、ここからどんどん広がります。

もっと知りたい人へ

動画で

マイクの使い方を見る

アプリで

録音と編集を試す

図書館で

録音の本を探す

次のステップ

著作権

録音した曲を扱うルールを知る

アレンジ

録音した音を作り変える

発表

録音作品をみんなに届ける

ポイント

- この教材の次は「音楽と著作権」。録音や発表のときに知っておきたいルールを学びます。

書いて覚えよう

1. 録音とは、どんなことですか。 _____
2. いちばん気をつけたいことは？ _____
3. これから挑戦してみたいことは？ _____

できたミッションに✓をつけよう： ☐1 ☐2 ☐3 ☐4

29

録音の基本チャレンジ

教室の外でも、録音はすぐに楽しめます。

探そう

家でいちばん**静かな場所**を探す

録ろう

好きな歌を**30秒だけ録音**する

聴こう

録音を**聴き直して感想**を書く

こたえ

L26 マイク→エ 雑音→オ 重ね録り→イ 編集→ア WAV→ウ 2. 雑音 / 重ね録り 3. コンデンサーマイク / WAV

L33 (例) 録音は、自分の音を客観的に聴き直せる、上達のための道具。

書いて覚えよう

録音の基本 (Season 8 | No.78)

発行：一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。

有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。